

第 323 回静岡エフエム放送番組審議会議事録

1. 日 時 平成 28 年 7 月 5 日 (火) 11:50~13:10
2. 場 所 静岡エフエム放送本社会議室
3. 番組聴取合評 [番組名] K-mix LIFE! LIFE! LIFE!
[放送日時] 平成 28 年 6 月 24 日 (金) 14:08~16:55
[出演者] kainatsu わたなべだいすけ(D.W.ニコルズ)
4. 出席者 [委員] 委員長 木宮敬信 委員 小野晃司
委員 山本りさ 委員 服部乃利子 委員 高木邦子
- [会社] 代表取締役社長 営業本部長 上野豊
常務取締役放送事業本部長 竹内照夫
放送事業本部副本部長 兼 編成制作部長 久保田克敏
編成制作部次長 鈴木秀明
編成制作部副部長 寺田和史

5. 事務局報告

- 第一四半期 売上状況の件
- V-LOW マルチメディア「トラン J」の件

6. 番組審議

- [対象番組] K-mix LIFE! LIFE! LIFE!
[放送日時] 平成 28 年 6 月 24 日 (金) 14:08~16:55
[出演者] kainatsu わたなべだいすけ(D.W.ニコルズ)
[番組内容] アーティスト 2 人による番組。その日に生まれる” LIFE”
を、ラジオを通じて共有していく 3 時間。

[聴取・合評での主な意見]

- 小野委員 番組テーマが面白い。2 人の掛け合いも良く夕方の番組に相応しい。
わたなべの音楽知識量は豊富である。2 人のしゃべりは、リアルサイズ
＝等身大で良い。
- 高木委員 「雑貨屋のような番組」というコンセプトそのものだという印象を受けた。
葉書のコーナーがある意味新鮮。2 人のしゃべりは、映像喚起力がある。
- 服部委員 2 人の息があっている。互いへのリスペクトも感じられる。2 人によるサントス
テッカーも印象的だ。アーティストの「視点」を感じるトーク。しゃべりに「ライブ感」が
ある。漢字のコーナーは、もう少しじっくり解説されると良いと思う。

山本委員 金曜午後に、ゆるくスタートという軽さが良い。ゲストインタビューにも、ミュージシャンとしての視点が感じられる。

木宮委員長 番組コンセプトが上手に表現されており、聴き易く心地よい。2人のファンにとっては楽しい番組ではないか。葉書のコーナーは、葉書にこだわっているのか？中身にこだわるのか？中途半端と感じる。中身の充実を図るなら、葉書のみ、はハードルが高い。常連リスナーばかりになってしまうのでは？また、ゲストインタビューでは、登場ゲストの基本情報が欲しい。

会社サイド 前回(第322回)では、パーソナリティと番組構成の2つの側でご意見を頂きました。番組構成については早速番組作りに反映させ、改善するようにいたします。

次回開催日 平成28年9月6(火) 11:50~13:00を予定

以上

番組審議会委員長

木 宮 敬 信